

令和7年10月30日

プロポーザル方式の実施結果について

下記の業務に係るプロポーザルの実施結果について、次のとおり公表します。

1. 業 務 名 「安宅の関」こまつ勸進帳の里及び安宅公園指定管理業務

2. 実施形式 公募型プロポーザル

3. 審 査 日 令和7年10月15日

4. 参加者名（申込み順）

- ・株式会社リナシエンテ
- ・株式会社小松DMC
- ・株式会社大和

5. 特定された受託候補者名 株式会社リナシエンテ

6. 審査結果

企画提案書の提出のあった3事業者に対して、審査（プレゼンテーション審査）を行い、最も多く第1位の順位を獲得した事業者を当該委託の受託候補者として特定した。第2位以下については第1位の順位獲得数、第2位の順位獲得数の順に順位を決定した。

項目	受託候補者	A社	B社
第1位獲得数	3	1	0
第2位獲得数	1	2	1
評価得点の合計点	293.75点	275.00点	241.25点
順位	第1位	第2位	第3位

（審査項目別評価得点）

審査項目・配点	受託候補者	A社	B社
管理運営の実績（10点×4人）	37.50点	30.00点	20.00点
管理運営体制（30点×4人）	82.50点	77.50点	77.50点
事業計画（40点×4人）	115.00点	110.00点	92.50点
収支計画（15点×4人）	41.25点	41.25点	37.50点
その他（5点×4人）	17.50点	16.25点	13.75点
合計（400点満点）	293.75点	275.00点	241.25点

(審査項目及び評価項目)

審査項目		評価項目	配点
管理運営体制	管理運営の実績	○地方公共団体における類似施設の維持管理・運営業務の「業務実績数」及び「業務概要」をもとに、本業務で必要な知見を有しているか ○地方公共団体における公園の維持管理業務の「業務実績数」及び「業務概要」をもとに、本業務で必要な知見を有しているか	10
	管理運営体制	○対象施設を含む安宅の関エリアの現状や課題が整理され、対象施設に求められる役割及び運営方針が示されているか	10
		○対象施設の管理運営において、責任体制及び業務の担当が明確になっているか	10
		○対象施設の管理運営において、十分な実施体制が確保されているか	
		○管理運営にあたって、防犯、防災対策の考え方が示されているか ○管理運営にあたって、個人情報保護について理解し、セキュリティ対策の考え方が示されているか ○利用者の苦情及びトラブルの未然防止と対処方法が示されているか ○管理運営に必要な職員の研修計画が示されているか、その内容に実現性があるか	10
事業計画・収支予算	事業計画	○対象施設の日常的な管理・点検及び対象施設の一体的かつ効率的な運営及び維持管理を行うための手法が示されているか	10
		○対象施設の管理運営にあたっての利用者ニーズの把握及びサービスへの反映方策について、具体的で実現性があるか	10
		○安宅テラス内のカフェの運営方策及びアンテナショップ（うみのえき安宅）跡の活用方策について、具体的で実現性があり、有用であるか	10
		○誘客促進・交流拡大に向けた企画やサービス向上に関する自主事業は、具体的で実現性があり、有用であるか	10
	収支計画	○維持管理・運営経費の縮減の方策が具体的で実現性があるか ○運営及び自主事業による収益確保の方策が具体的で実現性があるか ○上記を踏まえた指定管理委託料の縮減が提案されているか	15
その他	小松市事業への協力	○市が実施する各種取り組みへの方策が示されているか	5
	プレゼンテーション	○プレゼンテーションにおいて、指定管理業務に取り組む意欲が高く、熱意が感じられるか ○わかりやすく、説得力のある提案であるか、質疑への応答は適切であるか	
合計			100

(審査委員からの評価コメント)

事業者	主な評価内容
受託候補者	・管理経費の観点も踏まえた勧進帳ものがたり館の入館料無料化の提案は、集客を増やす新たな視点として評価できる。 ・関係者へ事前ヒアリングを行っており評価できる。 ・非常にわかりやすいプレゼンテーションであり、施設の利用計画についても現実的なものとなっていることが評価できる。

	・公園施設の管理実績を有しており、トイレの清掃については委託せずに自社できめ細かく行うことから、安心して管理を任せられる。 ・町内会、安宅住吉神社や安宅まつりなど、地域との連携方策が明確であり、観光回遊の構想が具体的である。 ・既存の他の指定管理施設等の人材をシフト的に配置し、閑散対応・コスト削減を図るなど効率的な運営方針は評価できる。 ・SNS・クラウドファンディング等での実績を有するなど、PR力や発信力に優れ、観光誘客の面で強みがある。 ・ヨガやフェス、期間限定ドッグラン、親子イベントなど安宅公園の活用構想が多彩である。 ・プレゼン及び質問への回答が的確であり、運営への意欲が感じられた。 ・類似施設の運営実績があり、安心して任せられる提案であった。カフェと勧進帳ものがたり館、芝生広場の活用はイメージできたが、カフェ裏の森林エリアに関しては、単なる管理だけではなく、もう少し人を集めて活用できるような提案があれば良かった。 ・飲食メニューの「ネオファミレス型」としての方向性は、ターゲット層を広くしている考えであるが、安宅の地の魅力発信という観点ではやや平凡に感じるので、さらなる充実を期待したい。
A社	・自主事業案はユニークで具体性に富み評価できる。またネーミングもおもしろい。 ・地域の高齢者、家族連れなど、一定のターゲットを想定している点が評価できる。 ・とてもワクワクする提案であった。質疑応答も丁寧で、プレゼンもとてもわかりやすくてよかった。 ・地元雇用と健康増進を掲げた運営理念が明確であり、地域密着・シニア層雇用など社会的意義が高い。一方で若い世代への配慮も考えられている。 ・グループの食関連のノウハウを活かし、「食」を軸に廉価で高品質な商品提供を通じた集客・収益性確保の提案がなされている。 ・飲食事業に関する運営方針については、付加価値を持った提案であり、非常に評価できた。 ・地域住民に配慮する姿勢が高く評価できる。一方、県外の観光客の誘客視点が弱い。 ・安宅の歴史と文化については、今後考えるとのことであり、残念に感じた。

	・ 飲食を中心とした提案であり、勧進帳や文化資源との結びつきが見えにくいと感じた。 ・ 近隣住民を利用者の主な対象としており、観光・文化面での独自提案が弱く、地域活性化の視点がやや不足していると感じた。 ・ グループ内の地域創生事業チームとの具体的な連携内容や体制がやや不明確に感じた。
B 社	・ ターゲットごとの分析と運営方針が明確でよかった。 ・ わかりやすいプレゼンテーションであった。施設利用のターゲットは、3つに分けてしっかりと考察されており、現在の課題等の対応策について検討されていることは、評価できる。 ・ まち歩きツアー・ガイドデスク構想など地域回遊促進が具体的に明記されている。 ・ 既存のカフェ運営事業者を活かした現実的運営方針でリスクを抑えている。 ・ プレゼン及び質問への回答は的確である。 ・ 課題分析の掘り下げは、もう少し深化を求めたい。 ・ 事業案全体としてはユニークで評価できるが、具体策に欠ける点が残念。 ・ 施設の維持管理・運営にあたっては、各分野の専門事業者（飲食・公園管理・イベント企画など）を配置している。B社が地域のハブとして複数事業者の調整を行う構想は、B社本来の役割に即しているとは評価できるものの、再委託比率が大きくなり、B社がコーディネートに留まると責任・一貫性に欠け、実質的な管理主体が不明瞭になると懸念する。 ・ 「ツアーデスク機能」は地域観光情報拠点として有効であると評価するが、「ホテルレセプション機能」については、地域情報の発信の一環としての機能との説明であるが、自社宿泊施設の業務延長・営業支援として行われる場合には、本施設の目的に沿った事業であるか疑問な部分がある。 ・ 多機能を少数の人員で担う計画にやや不安があり、人員体制がより充実するとよい。 ・ プレゼンでもう少し運営に関する熱意などが感じられると良かった。

7. 実施担当 小松市国際文化交流部観光交流課

（公表期間：上記公表の日から1年間）